

テーマ	ウィーン分離派(Wiener Secession)と板東俘虜収容所のデザインについて	
目的	板東俘虜収容所の印刷物とウィーン分離派作品、 一見結びつかない2つの美術に類似性があるのはなぜか?を探る。	仮説 ウィーン分離派のデザインは、ドイツ人たちの心を捉えており、捕虜生活下のドイツ兵にとって、心の癒やしの一つとなっていた。
結論		

ポイント	①	
	②	
	③	

内容等	気づいた点, 疑問点, 問題点, 課題等	まとめ, 考察, 行動目標, 改善点, 研究課題等
-----	----------------------	---------------------------

①板東俘虜収容所とは?

- ・日本は、() では () に従い、ドイツと戦争
- ・約5,000人のドイツ人捕虜が収容、そのうちのひとつが () 。

【板東での捕虜たちの生活 (スライドを見て思ったことをまとめよう)】

②ウィーン分離派とは?

- ・ ()
- ・ : 19世紀末(1890年代)、ウィーンを中心に活動した、保守的な芸術家協会に不満をもった芸術家が結成した、革新派のグループ。
- ・ 中心メンバー: () (画家)、ヨーゼフ・ホフマン (建築家)
オットー・ワーグナー (建築家)、 () (デザイナー)
マックス・クリンガー (彫刻家)
- ・ “DER ZEIT IHRE KUNST, DER KUNST IHRE FREIHEIT” (時代には芸術を、芸術には自由を)

→のちのウィーン工房、アーツアンドクラフト運動にもつながる芸術運動



() [クリムト]



ベートーベン像 [クリンガー]

←1901年、ベートーベンに焦点をあてた第14回ウィーン分離派展開催

③板東俘虜収容所での芸術活動 (印刷物) とウィーン分離派のデザインの類似性について

(1) () のデザイン (2) () のモチーフ



(3) () へのオマージュ
() のプログラムにクリンガーの彫像をモチーフとしたイラスト

④まとめ

自己評価

テーマ	ウィーン分離派(Wiener Secession)と板東俘虜収容所のデザインについて	
目的	板東俘虜収容所の印刷物とウィーン分離派作品、 一見結びつかない2つの美術に類似性があるのはなぜか?を探る。	仮説 ウィーン分離派のデザインは、ドイツ人たちの心を捉えており、捕虜生活下のドイツ兵にとって、心の癒やしの一つとなっていた。
結論		

ポイント	①	
	②	
	③	

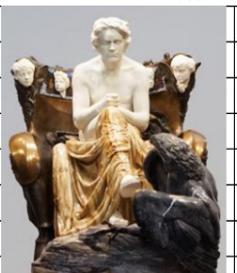
内容等	気づいた点, 疑問点, 問題点, 課題等	まとめ, 考察, 行動目標, 改善点, 研究課題等
-----	----------------------	---------------------------

①板東俘虜収容所とは?

- ・日本は、(第一次世界大戦) では (日英同盟) に従い、ドイツと戦争
- ・約5,000人のドイツ人捕虜が収容、そのうちのひとつが (板東俘虜収容所) 。
- 【板東での捕虜たちの生活 (スライドを見て思ったことをまとめよう)】

②ウィーン分離派とは?

- ・ (ウィーン分離派)
- ：19世紀末(1890年代)、ウィーンを中心に活動した、保守的な芸術家協会に不満をもった芸術家が結成した、革新派のグループ。
- ・中心メンバー： (グスタフ・クリムト) (画家)、ヨーゼフ・ホフマン (建築家)
オットー・ワーグナー (建築家)、 (コロマン・モーザー) (デザイナー)
マックス・クリンガー (彫刻家)
- ・“DER ZEIT IHRE KUNST, DER KUNST IHRE FREIHEIT” (時代には芸術を、芸術には自由を)
- のちのウィーン工房、アーツアンドクラフト運動にもつながる芸術運動



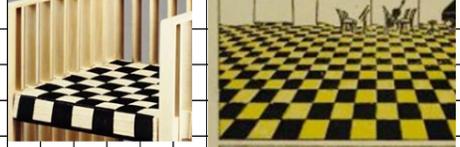
←1901年、ベートーベンに焦点をあてた第14回ウィーン分離派展開催

(ベートーベン・フリーズ) [クリムト] ベートーベン像 [クリンガー]

③板東俘虜収容所での芸術活動 (印刷物) とウィーン分離派のデザインの類似性について

(1) (幾何学模様) のデザイン

(2) (花と円環) のモチーフ



(3) (分離派展) へのオマージュ
(第九コンサート) のプログラムにクリンガーの彫像をモチーフとしたイラスト

④まとめ

自己評価